



Life with Sports

スポーツ
ともだち
仲間たち

Saitama Junior Sport Clubs Association

NO.69

PICKUP PHOTO

上段：花園 MBC*hana*
下段：柏崎ジュニアスポーツクラブ
(左、県スポ少表彰式(右))

広がる SNS での情報発信

近年、スポーツ少年団の活動において SNS を利用する場面はかなり広がっており、そのメリットは多岐にわたっています。

まず、練習日程や試合結果、イベント情報などを広く、迅速にチーム内や外部に向けて伝えることができ、情報共有の効率化が図れます。また、子どもたちのいきいきとした活動の様子を写真や動画で発信することで、新規団員の獲得や、メンバーのモチベーションの向上にもつなげることができます。さらには、他の単位団とのコミュニケーションも生まれ、様々な情報交換や、練習試合の調整などに利用されることもあるようです。

皆さんの団でも、適切な運用ルールを定め、プライバシーなどの安全に配慮しながら、SNS を最大限活用してみてはいかがでしょうか。

特集

◎ チームの新たな可能性を拓く！

Instagram 活用のススメ

活動報告

● 第42回埼玉県スポ少駅伝競走大会

information

● 令和7年度事業計画

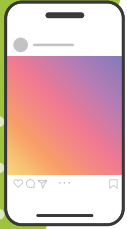
埼玉県スポーツ少年団だより
2025年(令和7年)5月31日発行
右記の県スポーツ協会ホームページ
からも情報誌をご覧ください。



本紙はスポーツ振興くじ助成金を受けて作成しております。

この情報誌は各単位団へ3部ずつ配布しています。指導者・母集団で回覧しましょう。

発行元：公益財団法人埼玉県スポーツ協会埼玉県スポーツ少年団



チームの新たな可能性を拓く！

Instagram 活用のススメ

少子化などの影響により、多くのスポーツ少年団が団員減少という課題に直面しています。この状況を打破する一策として、本特集では Instagram の活用に焦点を当てます。

Instagram の特性

Instagram は、写真や動画を中心とした視覚的な情報発信に特化しており、チームの雰囲気やダイレクトに伝えることができます。入団募集のチラシだけでは伝えきれない、各団ならではの個性豊かな魅力や、メインの競技に加えて行われるレクリエーション活動の様子などを発信することで、「このチームと一緒に楽しみたい！」という共感を呼び、入団希望者の増加に繋がる可能性があります。また、お子様の楽しそうな姿を通して保護者の共感を育み、「うちの子も楽しそう！」と感じていただくことで、チームへの愛着を深める効果も期待できます。



Instagram で紡ぐ、チームの歴史

Instagram を継続することは、単なる記録を超え、チームの歴史を未来へ繋ぐ財産となります。過去の投稿は、活動の歩み、勝利の瞬間、メンバーの変遷、地域との交流など、色褪せない思い出を映し出す貴重なアーカイブとして刻まれます。新しいメンバーにとってはチームの雰囲気を知るツールとなり、OB・OG にとっては懐かしい記憶を共有し、繋がりを再確認する場となるでしょう。

また、日々の投稿が積み重なることで、活動内容の成長の軌跡も可視化され、技術向上や活動の広がりを実感できます。Instagram は、時代を超えてチームの物語を語り継ぐ、かけがえのないデジタルアルバムとなるのです。



Instagram ではチーム外の人からの反応ももらうことができます。例えば、昔団に所属していた中高生などが、今の写真に「いいね」と好意的な反応を示してくれたりすることは、若い世代との繋がりを継続するための一つの方法にもなります。

Instagram 活用にあたっての注意点

Instagram を活用する際は、特に以下の点に配慮し、安全かつ適切な情報発信を心がけましょう。

個人情報とプライバシーの保護

顔写真や氏名の公開は慎重に行いましょう。個人の顔が明確な写真や氏名を公開する場合は、事前に必ず保護者の同意を得てください。集合写真の場合も、写っているお子様への配慮が必要です。学校名、学年、クラスなど、個人が特定されうる情報の記載は控えましょう。

肖像権・著作権の尊重

写真や動画に他の方が写っている場合は、その方の肖像権に配慮が必要です。また、他チームのロゴやキャラクター、音楽などを無断で使用することは著作権侵害にあたります。(Instagram のサービス内で提供されているスタンプや音源は、Instagram の投稿で利用する場合に限り問題ありません)。

不適切な内容の投稿禁止

暴力的な表現、差別的な表現、誹謗中傷など、不適切な内容は絶対に投稿しないでください。チームのイメージを損なうだけでなく、関係者に不快な思いをさせる可能性があります。

こんな事例も

練習試合の様子を載せたら、
相手チームの子どもの顔が映っていて、
削除してほしいと連絡があった

団員募集のチラシ掲載について、
保護者から OK をもらった写真を SNS で使ったら、
SNS には載せたくなかったと
連絡があった。

チーム内の温度感で、
身内ネタを投稿したら
一部の方に不快な思いを
させてしまった。

令和7年2月には、埼玉県スポーツ少年団内部でも SNS 活用に関するアンケートを取りました。その中の意見に「活発な発信は各々の活動の魅力を伝える効果がある一方で、個人への配慮に欠けることがある。母集団が身内の温度感で発信してしまう恐ろしさを感じている。」という意見もありました。手軽に発信できるようになりましたが、誤った情報や不適切な内容は投稿しないよう注意しましょう。



Instagram スタートのための 4 ステップ

1 アカウントを作ってフォローしてみる

まずはチームの名前で分かりやすいアカウントを作成し、プロフィールには活動内容、地域、対象年齢などを簡潔に記載します。初期段階として、日頃から交流のあるチームや関係者を積極的にフォローしてみましょう。投稿内容や頻度など、他のチームを参考にしながら今後の投稿のイメージを膨らませ、チーム内で意見交換に役立てましょう。



2 伝えたいチームの「雰囲気」について話し合う

チームが大切にしている価値観や伝えたい雰囲気について、「元気」「楽しい」「真剣」「育成」などのキーワードを出しながらチームで話し合い、その雰囲気を伝えるにはどのような写真や動画が良い考えましょう。あなたのチームカラーがInstagramを通じて伝われば、同じような考えを持つチームとの繋がりも増えます。

楽しい 子どもたちの笑顔に焦点をあてたもの。レクリエーションや食事風景なども◎。

真剣 試合や練習での子どもたちの真剣な表情に焦点をあてたもの。

3 注意点確認と同意方法の検討

Instagram 運用における著作権、肖像権、プライバシー権などの注意点をチーム全体で確認します。特に、子どもたちの写真や動画投稿に関する保護者への同意方法を具体的に検討し、丁寧な説明を徹底したうえで、安全かつ安心して情報発信できる体制を整えましょう。

保護者への同意は、口頭ではなく書面に残しておく方が丁寧です。また、掲載 NG の方や SNS の掲載に関する考えが許諾後に変わった方などが声をあげやすい雰囲気づくりを行いながら、無理のない範囲で SNS を活用しましょう。



4 「継続」を目標に投稿をスタート！

準備が整ったら、無理なく続けられる頻度で投稿をスタートします。Instagram の投稿は「撮影」から「投稿」までの間に、「写真・動画の編集」「スタンプやBGMの追加」、「テキストの検討」など、効果的に伝えるための様々な工夫ができますが、まずは継続することが大切です。

初めて投稿する場合は「継続」を目標として、「練習後に写真を1枚投稿する」などの目標を設定し、投稿に慣れてきたら徐々に頻度や内容を調整していくと良いでしょう。

Instagram 担当を応援しよう！ 周りの理解とサポートで意欲アップ

チームの魅力を発信する Instagram 担当は、まさにチームの顔となる重要な役割です。担当する方、している方の意欲を高め、投稿を継続していくためには、周りの理解と温かいサポートが不可欠です。

「いいね！」やコメントで積極的に反応しましょう。

担当者が投稿した写真や動画に、チームのメンバーや保護者、指導者から積極的に「いいね！」などのアクションを起こすことで、投稿への手応えを感じ、モチベーション向上に繋がります。「素敵な写真だね！」「いつもありがとう！」といった温かい声かけは、担当者の大きな励みになります。

できる範囲で活動への協力も行うと良いでしょう。

魅力的な投稿のためには、日々の練習風景やイベント時の写真・動画素材が欠かせません。チーム全体で撮影に協力したり、担当者に素材を提供したりする姿勢が大切です。また、アイデア出しに協力したり、投稿内容について一緒に考えたりすることも、担当者の負担軽減と意欲向上に繋がります。

担当者の意見やアイデアを尊重しましょう。

投稿者が若い世代の場合は、その感性を理解し、担当者の提案に耳を傾け、積極的に採用する姿勢が大切です。成功体験を積み重ねることで、担当者は自信を持って活動に取り組めるようになります。

Instagram 担当は、チームの魅力を発信するだけでなく、新たなファンや仲間を増やす可能性を秘めた重要な役割です。周りの理解とサポート、温かい声かけによって、担当者の意欲を高め、チーム全体の活性化に繋がっていきましょう。

Instagram で若い世代が活躍できる場を

スポーツ少年団の運営は、指導者と保護者の皆様に支えられていますが、チームの活性化には若い世代の参加も不可欠です。特に Instagram は若年層に広く利用されており、チーム内に SNS 担当を設けることで、彼らのスキルと視点を活かすことができます。デジタルネイティブの感性をチーム運営に取り入れ、新たな風を吹き込みませんか？若い世代の積極的な参加は、チームの活性化と魅力向上に繋がるはずです。

● 第42回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会

令和7年2月11日(祝)、熊谷スポーツ文化公園において埼玉県スポーツ協会創立100周年記念・第42回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会を開催いたしました。

この大会は地域・種目の枠を超えた交流を目的としており、男女別に4年生～6年生の団員が6名以上在籍する県内の少年団であればエントリー可能です。今回は東西南北全ブロックより男女各14チームが参加。6区間 x2kmの特設コースで駅伝競走を行いました。風の強い日でしたが、無事大会を終えることができました。優勝チームは昨年同様男女ともにファイト川越陸上クラブでした。



● 令和6年度埼玉県スポーツ少年団登録者研修会

令和7年1月26日(日)に上尾市のスポーツ総合センターにて令和6年度埼玉県スポーツ少年団登録者研修会を実施いたしました。第1部では、「ジュニア期のスポーツ指導に必要な知識」をテーマに講義を、第2部ではグループワークを、①「NO! スポハラ」を達成するために指導者が為すべきこと、②勝利至上主義に陥らないために指導者はどうあるべきでしょうか、というテーマで45分ずつ行いました。

このような内容で実施するのは今回が初めてでしたが、スポーツ少年団の知識、それに基づいた指導を行っている方々が参加しているため、スタートコーチ養成講習会とは違ってグループワークの話合いの広がり深まりが見られ、大変意義のある研修となりました。残念ながら、予定していた参加者を大幅に下回る結果となりました。参加者を増やす手立てを考えるとともに、本研修会のねらい・目的を明確にして、スタートコーチよりランクアップした魅力ある内容にしていく必要があると感じました。

この研修会は、指導者資格の更新に必要な更新研修に位置付けてあります。安全で健全な指導をするために、学び続ける指導者が求められております。今年度以降も実施していく予定ですので、更新時期に関わらずご参加お待ちしております。

令和7年度事業計画

1 埼玉県スポーツ少年団大会の開催

- (1) 埼玉県スポーツ少年団種目別大会(13種目)〔日程〕4月～令和8年3月
- (2) 第48回埼玉県スポーツ少年団大会〔日程〕9月13日～15日
- (3) 第44回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会〔日程〕7月12日～27日

2 第52回日独スポーツ少年団同時交流事業

- (1) 派遣事業〔日程〕7月28日～8月14日〔場所〕ドイツ連邦共和国〔人数〕団員4名
- (2) 受入事業〔日程〕8月4日～8月8日(4泊5日)〔受入本部〕埼玉県スポーツ少年団

3 指導者養成・研修事業

- (1) スタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会（県本部直轄：1 コース 市町村会場：15 コース）
- (2) スタートコーチ（ジュニア・ユース）インストラクター研修会
 - ア 日本スポーツ少年団主催の研修会
 - 〔日程〕養成講習会：9月27日～28日、再委嘱研修会：9月28日～10月26日
 - イ 埼玉県スポーツ少年団開催事業〔日程〕5月17日、6月29日〔会場〕スポーツ総合センター
- (3) 登録指導者研修会〔助成（補助）事業〕〔日程〕4月1日～令和8年3月31日
- (4) 母集団研修会〔助成（補助）事業〕〔日程〕4月1日～令和8年3月31日
- (5) 埼玉県スポーツ少年団登録者研修会〔日程〕未定
- (6) 運動適性テストⅡ普及研修会〔日程〕未定
- (7) アクティブチャイルドプログラム(JSPO-ACP)埼玉県研修会〔日程〕①11月30日、②令和8年2月14日
- (8) 研究大会等派遣
 - ア ジュニアスポーツフォーラム派遣〔日程〕6月15日
 - イ 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会〔日程〕11月1日～2日

4 リーダー養成・研修事業

- (1) シニア・リーダースクール派遣〔日程〕事前研修：7月6日、全体研修：8月6日～9日
- (2) ジュニア・リーダースクールの開講
 - ア（中学生対象）ジュニアリーダースクール（県本部開催）〔日程〕8月15日～17日
 - イ（小学生対象）ジュニア・リーダースクール補助事業〔助成（補助）事業〕
- (3) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会派遣〔日程〕11月
- (4) 関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会派遣〔日程〕10月18日～19日
- (5) 埼玉県スポーツ少年団リーダー会の育成

5 スポーツ少年団活動活性化補助事業

- (1) スポーツ少年団活動活性化補助事業〔日程〕4月1日～令和8年3月31日

6 国内交流大会派遣事業

- (1) JAPAN GAMES JUNIOR & YOUTH〔日程〕7月31日～8月3日
- (2) 関東ブロックスポーツ少年大会〔日程〕8月1日～3日
- (3) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会〔日程〕8月8日～11日
- (4) 全国スポーツ少年団剣道交流大会〔日程〕令和8年3月27日～29日
- (5) 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会〔日程〕12月25日～28日
- (6) 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会〔日程〕7月12日～7月27日

7 埼玉県スポーツ少年団表彰

埼玉県スポーツ少年団表彰〔日程〕令和8年2月15日

8 日本スポーツ少年団顕彰

伝達式…埼玉県スポーツ少年団表彰において実施をする

9 スポーツ少年団「スポーツともだち仲間たち」の発刊

〔発刊時期〕5月、9月、1月



スポ少フォト 募集中!

表紙等、本情報誌に掲載する写真を募集します。

応募方法と注意点は以下の通りです。たくさんの応募をお待ちしています。

※採用された団には、記念として必要枚数分情報誌を送付させていただきます。



応募テーマ

スポーツ少年団活動

応募期間

令和7年8月1日(金)まで

応募方法

撮影した写真データを、県スポーツ少年団事務局宛に電子メールで送付してください。
なお、メール本文には、以下タイトルと①～④の必要事項をご記入ください。

メールタイトル スポ少フォト申し込み

必要事項 ① 市町村名 ② 単位団名 ③ 団代表者氏名 ④ 写真タイトル

✉ 県スポーツ少年団事務局

sjsa@saitama-sport.org

- ・応募する写真データの容量は3メガバイトまでとしてください。
- ・写っている人物に許可をとってから応募してください。
- ・掲載が決定した写真の応募者にのみ、掲載決定のご連絡をさせていただきます。
- ・応募写真等の著作権は埼玉県スポーツ少年団に帰属し、「情報誌：スポーツともだち仲間たち」に使用させていただきます。

これからももっと、
私はスポーツを楽しむんだ。

卓球歴24年。バスケ歴1日。

卓球の200倍もの重さがあるボールは、
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。

初対面でもあっという間に仲間になれる。

競技人生での楽しさとは違う、
スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、
すべての人のために、
スポーツくじの収益は使われています。